Creative Enzymes®

ラクトコッカス・ラクティス由来のリティックキチンモノオキシゲナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1567

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	リティックキチンモノオキシゲナーゼは、銅依存性のリティック多糖モノオキシゲナーゼ（LPMO）です。銅依存性のリティック多糖モノオキシゲナーゼ（LPMO）は、バイオマスの酵素的□換において重要な役割を果たします。LPMOは、セルロビオース脱水素酵素（CDH）などの電子供与体と分子酸素を含むプロセスで、グリコシド結合の酸化的切断を触媒します。
別名	銅依存性リティック多糖モノオキシゲナーゼ; LPMO; リティック多糖モノオキシゲナーゼ

製品情報

種	ラクトコッカス・ラクティス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 1.-.-.-
分子量	21.8 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	0.25 mg/mL
最適pH	3.8
最適温度	37 °C
特異性	α-およびβ-キチン

保管・発送情報

保存方法	この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。